

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取いなば） 6 月号

① 出荷増に対応 初の果樹実習

J A 鳥取いなば営農指導センターは4月2日、J A グリーン店内の「グリーンファーム愛菜館農園」で営農実習を開いた。生産者ら約20人が参加し、果樹栽培の基本を学んだ。

県内で果樹生産者の出荷が増えてきており、初めてみかん栽培をテーマに実習を行った。同J A の営農指導員が、定植のポイントや病虫害防除の方法などを説明した。



② らっきょう漬け方講師の会研修会

J A 鳥取いなば福部支店の福部らっきょう漬け方講師の会は5月11日、「鳥取砂丘らっきょう」の販売促進に向け研修会を開いた。らっきょうの漬け方や食べ方を消費者に伝えるため、J A 全農ととっとりと連携し取り組んだ。

今年度の出荷を目前に控え、同会の会員12人が、塩漬けが不要で失敗しにくい「簡単漬け」の方法を実際に調理して再確認した。



③ J A 鳥取いなば岩美支店が援農支援

J A 鳥取いなば岩美支店は5月15日、岩美町の横尾棚田地区で援農支援を行い、地域の農業をサポートした。J A 支店管内で、田畑の所有者が県外に在住しており、コロナ禍で往来が困難なことから、昨年からは支店独自で援農支援をスタートさせた。

当日は、生産者やJ A 職員ら16人が参加し、田植えや地元特産の「マコモタケ」の苗の植え付けなどを行った。



以上